

令和5年度第1回あおもり未来ミーティング（東部第9区連合町会）会議概要

日時：令和5年10月26日（木）18：00～19：10

場所：合浦小学校 ランチルーム

テーマ：堤川河口の海岸の漂着ゴミ対策について ほか

参加者数：6名

市側出席者：市長、副市長、企画部長、市民部長、福祉部長、経済部長、都市整備部次長

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・西風が吹くと堤川河口にゴミや砂がたまり、対策をしてもらわないと水害になるため、漂着ゴミの収集を上辺だけでなく、ゴミや砂がよりたまらない形でやってもらうように県に要望してもらいたい。また、ゴミが集積しないような造りにできないか。昨年に引き続き今年も浚渫をお願いしたい。

⇒堤川河口のゴミの撤去について、令和5年度は11月末までに実施される予定だとの報告を県から受けている。今後も県に対して皆様のご要望を伝えていく。

堤川河口にゴミが堆積ないように護岸工事をしてほしいという要望は、要望を受けるたびに県に伝えているが、波消しブロックの構造の変更は難しいという回答をいただいている。しかし波消しブロックへのゴミの堆積による景観の悪化、悪臭の発生が懸念されるため、護岸整備の可能性の検討については、再度県に話していきたい。

堤川河口付近の浚渫については、平成30年度から継続して石森橋から下流の区域で実施されている。今年度の浚渫は1月下旬までに完了する予定である。

- ・合浦小学校校庭側、北側の木が大きく繁り教室が暗くなっている。また、公園全体に木が茂り、光が入らない。剪定してほしい。
⇒今回の相談を受けて、9月29日に合浦小学校教頭と公園愛護会会長と現地で立ち会い、校舎への日当たり改善や樹勢の衰えた樹木の対策について協議した。
その結果、樹木の伐採が必要であると判断されたため、10月24日までに完了した。

- ・西ブランドの重点政策について教えてほしい。

⇒人口減少に対応し活力ある青森市をつくるため、「青森市しごと創造会議」を重点政策の一つに位置付け、取組を始めたところである。

会議の狙いとしては、新型コロナウイルスの感染拡大後の社会経済環境の変化などを踏まえ、産業、学術、金融、行政の産学官が共に創る「共創」による今後の新しい産業振興の具体的な戦略などについて検討・共有し、市民所得の向上や雇用促進などの地域経済の活性化を図っていくものである。

会議における委員の方々の意見に加え、本市経済の現状や課題についての分析などを基に、地域経済の専門家からいただいた「今後は、デジタル技術の活用などの『DX分野』、クリーンエネルギー関連産業への参入などの『GX分野』、国内外からの観光需要の取込みなどの『観光分野』、市外への販売強化などの『マーケティング分野』の4分野での取組に特に力を入れるべき」との提案も踏まえながら、来年秋頃を目途に「（仮称）青森市しごと創造戦略」を取りまとめることとしている。

同戦略の推進に当たっては、1次産業から3次産業まで幅広い分野において、産学官が互いに連携・補完し合いながら、コロナ後の社会環境等の変化を踏まえた地域産業の再生、地域での経済循環を高めるための連携強化、成長が見込まれる産業分野への参入促進などに向けて、生産性の高い仕事の創出、農業や漁業製品のブランド化と国内外への販売、さらには青森港の洋上風力発電の拠点港化に伴う関連産業の集積による新たな事業の創出などに取り組んでいく。